

2026年10月22日

公益財団法人東京陸上競技協会
理事長 下山良成

東京都中学校総合体育大会陸上競技大会
3年男子100m A決勝に関するご報告とお詫び

東京都中学校総合体育大会陸上競技大会の3年男子100m A決勝における競技運営上の事案について、東京陸上競技協会(以下「当協会」)が実施した調査の結果、これまでの対応および再発防止策を公表いたします。

当協会の主催大会において、競技運営および記録に疑念を生じさせたことを深くお詫び申し上げます。本レースに参加された選手の皆様、選手を支えてくださる保護者の皆様、ご指導にあたられた指導者の皆様に、心よりお詫び申し上げます。

陸上競技では、競技結果や記録の正確性・信頼性を確保し、公正かつ適切に大会を運営することが不可欠です。当協会は本事案を重く受け止め、東京都中学校体育連盟陸上競技専門部(以下「中体連陸上部」)に事実確認と調査を依頼するとともに、当協会の競技運営委員会を中心に関係者から情報を収集し、事実確認と対応策の検討を進めてまいりました。また、倫理委員会を開催し、事実関係の整理と今後の対応を検討しました。

調査の結果、当該レースでは風力計測員から正しい風力が発表されず、主任による確認も行われていませんでした。また、風力測定表示が記録速報表示板に接続されておらず、再レースに至った主な理由が機器の不具合として扱われていました。さらに、当協会が審判員の委嘱や運営を中体連陸上部に一任していたこと、事案発生後に中体連陸上部の報告を受けてから当協会が関係者に再度聞き取りを行ったことにより、事実確認に時間を要したことも課題です。

当面、当協会の委員会が競技会の審判編成や運営に主体的に関わり、運営の改善を進めます。当協会から競技会運営に必要な審判員を派遣し、中体連陸上部の審判員研修を徹底するとともに、再発防止に向けた研修会を開催し、改善策の実施状況を継続して確認します。

当協会においても、中体連陸上部と当該風力計測員・主任への嚴重注意と指導を行いました。該当レースの参加者の皆様には、中体連陸上部から事情を説明してお詫びし、必要な事後対応を行います。

さらに審判講習・研修のあり方を見直し、あわせて、ガバナンスを強化し、当協会の審判員規定の見直しを進めてまいります。

【これまでの対応経過】

- 7月25日（土） 中体連陸上部が都総体のレースを実施。機器の不具合により風力の確認が不十分だったとして、翌26日に再レースを行うと発表。
- 7月26日（日） 中体連陸上部が再レースを実施。雷雨により競技を中断し、約3時間遅れで再レースを行った。
- 7月27日（月） 当協会競技運営委員会が、記録公認の承認にあたり、中体連陸上部に詳細な調査と報告書の提出を指示（7月29日締切）。
- 7月31日（金） 競技運営委員会が中体連陸上部関係者に聞き取りを実施。原因は人為的ミスであり、機器の不具合ではないことが判明した。詳細は関係者への再調査後に確認することとした。中体連陸上部ホームページの「機器の不具合により再レース」との記載を修正するよう指示。
- 8月2日（日） 中体連陸上部ホームページの記載を「器具の不具合ではなかったことが判明し、現在調査中」に修正。
- 8月3日（月） 当協会が中体連陸上部に、関係者への再度の聞き取りを含む追加調査を行い、改善点と再発防止策を提示するよう指示（8月31日締切）。
- 8月中 中体連陸上部が再調査を行い、調査報告書を作成。
- 8月31日（月） 中体連陸上部が当協会競技運営委員会に再調査結果を提出。競技運営委員会は、9月7日に再度聞き取りを行うことを決定。
- 9月7日（月） 報告書をもとに、当協会競技運営委員会が聞き取りと確認を実施。
- 9月8日（火） 常務理事会に概要を報告。
- 9月18日（金） 当協会倫理委員会の招集を決定。
- 9月24日（木） 倫理委員会を開催。
- 9月25日（金） 中体連陸上部に、調査結果と改善策に関する発表資料の提示を通告。
- 10月9日（金） 中体連陸上部と担当風力計測員と主任に事実関係確認と厳重注意
- 10月22日（木） 当協会の報告書を掲載。